

農業拠点施設指定管理者 事業報告評価総括表
【管理業務の実施状況】

施設名	農業拠点施設
指定管理者名	株式会社あびべじ
指定管理期間	令和2年4月1日 ～ 令和5年3月31日
モニタリング期間	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日

評価…5点：評価の視点を満たしており、特に優れた成果が出ている。 4点：評価の視点を満たしており、優れた成果が出ている。

3点：評価の視点を満たしている。 2点：評価の視点を満たしているとはいえないが、取り組みは見られる。 1点：評価の視点を満たしているとはいえず、取り組みが見られない。

総合評価…S（特に優れている）：市評価と各選考委員評価の平均得点が5 A（優れている）：市評価と各選考委員評価の平均得点が4以上5未満

B（普通）：市評価と選考委員評価の合計得点が3以上4未満 C（不十分である）：市評価と選考委員評価の平均得点が2以上3未満

D（全く不十分である）：市評価と選考委員評価の合計得点が2未満

※各評価項目を事業計画書・収支計画書・協定書・事業報告書・実地調査の結果及び事業報告確認書に基づき以下の評価の視点で評価しました。

評価項目	評価の視点	指定管理者評価	指定管理者コメント	市評価	市意見	各選考委員平均評価	選考委員会意見	市と各選考委員評価平均点	総合評価
事業の実施に関する業務	法令順守	3	<ul style="list-style-type: none"> 労働基準法に基づく労務管理改善に向け、評価制度の導入による評価を実施している。 社会保険労務士の指導に基づき、スタッフを雇用している。 食品衛生法その他関係法令を遵守している。 	3	事業計画書等に記載のとおり、関係法令を遵守している。	3.0	必要な体制の構築や研修を実施し、関係法令を遵守している。	3.0	B
	農産物販売	3	<ul style="list-style-type: none"> あびこエコ認証キャンペーンに協賛し、エコ農産物の買い上げが増え、出荷も増えた。 委託業者からの魅力的な商品を導入することで、顧客数が増えた。 継続的なキャッシュレス化（クレジット、電子マネー）を推進し、顧客の利便性を高め、利用促進を図っている。 	3	事業計画書等に記載のとおり、利用促進や顧客の確保に向けた取り組みが見られる。レジ通過者数や売上額を昨年より増加させたことは評価したい。若手農業者向け研修会を開始するなど取組は見られるが、引き続き新規登録農家の増加を図るために、これまで以上の取り組みを期待する。	3.0	事業計画冒頭に記載されているとおり、顧客の利便性を高め利用促進を図っている。	3.0	B
	加工品販売開発・製造	3	<ul style="list-style-type: none"> 前年から引き続きコロナ禍の影響で中食需要が増え、お弁当、おにぎり、惣菜の売り上げに繋がった。 季節ごとに新メニューを開発し、顧客を飽きさせない工夫をした。 菓子部門では、季節イベント（ハロウィン、需要で、予約販売で顧客満足度につなげた。 地元野菜を使用した惣菜や野菜ピザの継続販売をし、顧客確保につなげた。 	3	事業計画書等に記載のとおり、加工品の販売や開発・製造に取り組んでいる。令和4年度は前年度より売上高を増加させたことは評価したい。光熱費、原料価格や人件費の高騰の影響もあり、年度収支が赤字となっているため、状況に応じた運営状況の改善を図っていくことが望まれる。専門家による指導を受けている中で、現在の商品の製造方法やコストの見直しを図ると共に、顧客確保に向けて我孫子産農産物を活かした魅力ある商品開発を期待する。	3.0	赤字収支が拡大しているため、商品開発だけでなく、販売手法の工夫を期待したい。事業計画にある規格外利用は食品ロスの推進に加えて、農業者と交渉し原価の縮減に繋げることを期待する。	3.0	B
	飲食施設	3	<ul style="list-style-type: none"> 全てのメニューがオーダーをいただいてからの調理で、顧客満足度が上がった。 度重なる材料費の高騰により、原価の見直しを随時行い、一部価格の改定をし、収支状況の改善を図った。 顧客の定着を図るため、季節メニューを継続して入れ込んだ。 ティータイムを充実させるため、デザートメニューを増やし、顧客の確保につなげた。 	3	事業計画書等に記載のとおり、利用促進や顧客の確保などに向けた取り組みが見られ、物価高騰の影響を受けた中で、年間を通して収支が黒字化されたことは評価したい。併設の飲食施設である強みを活かし、より消費者ニーズにあったメニューの提供と効果的な集客施策の展開を期待する。	3.0	光熱水費や物価が高騰している中で、利益を確保したことは評価したい。季節メニューやデザートメニューの導入等顧客確保に努めている。	3.0	B
	学校給食	4	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍ではあるが、安定的に食材提供を実施した。 給食コーディネーターによる、情報発信で、「地元野菜紹介（毎月）」と「タイムリー野菜情報」を市内小中学校に発信した。 定期的な給食4社会議の実施で、問題点の改善を図っている。 	4	事業計画書等に記載のとおり、旬な野菜の情報発信などを行い、利用促進や我孫子産野菜の安定供給に努めている。新型コロナウイルスにより制限がされていた食育授業も再開され、旬な野菜の情報発信をしていた「とうもろこしの皮むき」、「そら豆のさやむき」の体験が実施できたこと、昨年度に引き続き、納品量を増加させたことは評価したい。	4.0	新型コロナウイルス感染症の落ち着きと共に、児童生徒への食育授業が再開されると同時に、学校と連携した食育活動を速やかに取り組んだ点は評価したい。また、この事業は将来に繋がる非常に重要な取り組みであり、農業拠点施設としての機能の中核の一つであると考えられるため、納品量の増加や食育の再開は高く評価したい。今後も積極的な協力を期待する。	4.0	A
	イベント	4	<ul style="list-style-type: none"> あびこん農業体験交流事業を継続させ、消費者との交流を深め、農業への関心を持ってもらった。 外部主催イベント（Enjyoy手賀沼、大正ロマンウオーキン手賀沼、JR常磐線沿線産直市、全国農協観光協会体験交流ツアー、農業まつり等）に積極的に協賛して、あびこんをPRした。 創業祭で新企画、農家による軽トラ市販売で消費者との交流を図った。 あびこん主催（NPO法人劇団の演劇上演、ピアノコンサート）で集客を図った。 	4	事業計画書等に記載のとおり、利用促進や顧客の確保に向けた取り組みが見られる。体験農園事業により、農家と市民の交流が図れたことは評価したい。また、新型コロナウイルスの影響で規模を縮小していたイベントを少しずつ再開しながら、出荷農家による農産物直売会（軽トラ市）など新たなイベントが実施できたことは高く評価したい。新規顧客の発掘を図るためにも、直売所の特徴を活かしたイベントの開催を期待したい。	4.0	新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、イベントの再開に努め、新たなイベントにも積極的に取り組んだこと、逆境にありながら運営の支えの一つとなったことは評価したい。具体的には、農業交流体験事業の継続、軽トラ販売で農家と市民の交流を図ったりと市民に農業への関心を深められたことは意義深い。	4.0	A
	情報発信	3	<ul style="list-style-type: none"> チハテレビの動画撮影を受けた。 あびこ市民活動ステーションから「町活ライター」の取材を受ける。 WEBサイト（インスタグラム、フェイスブック等）を随時、発信をし、周知を図った。 	3	事業計画書等に記載のとおり、適宜情報発信を行っている。SNSや店内POPなどで、旬な野菜の情報など積極的に発信したことは評価したい。一方、より積極的なホームページの活用強化を期待する。	3.0	Instagramのフォロワーを確実に伸ばしている。引き続きファンの獲得に努めてほしい。	3.0	B
経費縮減	4	<ul style="list-style-type: none"> 適正なシフト管理やマルチスタッフ化で、人件費を抑えている。 直売所では、仕入れ品の厳選適正量の仕入れに努め、廃棄ロスを削減した。 米舞亭では、ロスを出ないように適正仕込み量のチェックリストを作成し、実行したのでロスを削減した。 電気ガスの使用量を抑え、光熱費の増大のを抑えた。 	4	事業計画書等に記載のとおり、一般経費の縮減に努めており、高騰した光熱費への対策、仕入れの改善やシフトの適正化など経費縮減の取り組みが行われたことで、全体収支の黒字化に繋がっていることは評価したい。部門に捉われず柔軟にスタッフを配置するなど、より無駄の無いシフトを組み、適正な経費とすることを期待する。	3.6	社会的な物価高、特に例を見ない電気料金の高騰という逆境を受けながらも、経費縮減にこれまで以上に努め、この1年間を凌いだということについては、弛むことなく大きな努力を尽くされた結果であり評価したい。人事管理やコスト管理の工夫で経費を縮減できたことは評価すると共に、今後も継続した対応を期待する。	3.7	B	
利用者への対応業務	市民平等	3	<ul style="list-style-type: none"> 登録農家以外にも積極的に声掛けし、農業者の公平な利用に務めた。 ポイントカードの継続導入で消費者還元を平等に行っている。 直売所部門では、通路を広くして車椅子対応にしている。 レストラン部門では、子ども椅子、食器の用意をし、皆が使いやすいようにしている。 	3	事業計画書等に記載のとおり、市民の平等な利用の確保に取り組んでいる。	3.0	事業計画書等に記載のとおり、市民の平等な利用の確保に取り組んでいる。	3.0	B
	ニーズ把握	3	<ul style="list-style-type: none"> 直売所でお客様の要望（取り置き、取り寄せ等）に出来るだけ応えた。 各部門、ご意見箱の設置により、顧客ニーズを集約しサービスに反映した。 直売所及び米舞亭では、接客で気付いた点は日誌に記録したり、聞き取った内容を朝礼等にスタッフ間で共有して改善につなげた。 	3	事業計画書等に記載のとおり、ニーズの把握に努め、サービスに反映している。朝礼等で接客で気になった点をスタッフと共有するなど、会社全体で求められるサービスの向上を図っていく取り組みができたことは評価したい。より多くの利用客に満足してもらえる施設となるように、アンケート内容への具体的な対応を期待する。また、積極的なアンケート実施を行い、ニーズ把握に努めてほしい。	3.0	アンケート回答で検討するとした意見について、対応する・しないは別として、結果どうしたのかを顧客に提示しているのか。していなければ、誠実に対応していない印象をもたれないか懸念される。利用者目線での対応方法の改善を期待する。	3.0	B
	苦情対応	3	<ul style="list-style-type: none"> 苦情の把握と対応フロー図に基づき、迅速かつ適切に対応している。 対応した内容は、朝礼及び昼礼でスタッフに共有し、反映させている。 	3	事業計画書等に記載のとおり、対応する体制が整っている。	3.0	事業計画書等に記載のとおり、苦情の把握と対応を迅速に対応している。	3.0	B
	利用料金	3	<ul style="list-style-type: none"> トラブルは無く、適正に処理している。 	3	事業計画書等に記載のとおり、利用料金を適正に徴収している。	3.0	出荷登録農家を増やすことで継続的な施設運営にも繋がることから、利用料金の見直しを図るなど検討してほしい。特に、新規出荷者の拡充のために利用料金の引き下げも検討してほしい。	3.0	B

農業拠点施設指定管理者 事業報告評価総括表
【管理業務の実施状況】

評価項目	評価の視点	指定管理者評価	指定管理者コメント	市評価	市意見	各選考委員平均評価	選考委員会意見	市と選考委員会評価合計点	総合評価	
維持設 管及 業理 び 務に設 備 するの	危機管理	事業計画書に記載されている内容またはそれに代わる方法で、食品の安全性を確保できる体制が整っているか。	3	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症予防対策として、店内各所に消毒液の設置、スタッフのマスクの着用の徹底、検温器の設置、異い物かごや券売機の定期的な消毒、レジ用アクリル板の設置をしている。 レストランでは、店内席の間隔を広く取る、換気をよくするなど予防対策をしている。 消防及び震災等の避難訓練マニュアルを作成し、体制を整えている。 緊急時の連絡体制を確立している。 	3	事業計画書等に記載のとおり、緊急事態に対する予防策や対応できる体制を整えている。ガイドラインに沿って、新型コロナウイルス対策を引き続き講じられたことは評価したい。緊急時の連絡対応がしっかりと取れるように、訓練の実施をお願いしたい。	3.0	事業計画書の記載とおり、危機管理体制を取っている。	3.0	B
	衛生管理	事業計画書に記載されている内容またはそれに代わる方法で、食品の安全性を確保できる体制が整っているか。	3	<ul style="list-style-type: none"> HACCPの考えに基づく衛生管理を各部門で実施している。 食品を扱う部門では、食材を電解水で洗浄している。 食品を扱う部門では、日常作業の中で消毒の徹底、作業委（白衣、ヘアキャップ当）着衣の徹底をしている。 全部門においてスタッフの健康管理は、健康管理表で継続的に管理している。 	3	事業計画書等に記載のとおり、衛生管理を適切に行っている。新型コロナウイルスへの対応が求められる難しい時期ではあったが、スタッフや出荷者への衛生面の指導を行い、より安全・安心な施設となるように対応したことは評価したい。	3.0	事業計画書の記載とおり、衛生管理体制を取っている。	3.0	B
	備品管理	事業計画書に記載されている内容またはそれに代わる方法で、備品を適切に管理できる体制を整えているか。	3	<ul style="list-style-type: none"> あびこにて購入した備品（什器）について、備品台帳で管理している。 市から貸与された備品についても適切に管理している。 備品の在庫チェックをこまめにし、不要な購入を控えた。 	3	事業計画書等に記載のとおり、備品を適切に管理している。引き続き適切な備品管理に努めていくことを期待する。	3.0	水の館での営業を始めて6年以上が経過し、不具合も増えてくると思われるので、これまで以上に適正な維持管理に努めてほしい。	3.0	B
	清掃	事業計画書に記載されている内容またはそれに代わる方法で、施設の清潔な状態の維持できる体制を整えているか。	3	<ul style="list-style-type: none"> 作成した清掃マニュアルに基づき清掃をしている。 清掃スタッフを雇用し、直売所、レストラン店内を清潔に保持した。 加工室（Ⅰ、Ⅱ）や飲食厨房は現場スタッフにて毎日行った。 	3	事業計画書等に記載のとおり、施設が清潔な状態となるよう清掃を行っているため、今後も継続的な清掃管理に努めてほしい。	3.0	事業計画書の記載とおり、作成した清掃マニュアルに沿った清掃をしている。	3.0	B
その他	市民の雇用 市内業者の 活用	事業計画書に記載されている市民の雇用機会創出や中小企業の受注機会の確保のために、我孫子市民の雇用や市内業者の活用に努めているか。	3	<ul style="list-style-type: none"> 市民雇用者 75%（44名中37名）を雇用している。 市内事業者 46%（61軒注28軒） 	3	事業計画書等に記載のとおり、積極的に市民の雇用と市内業者を活用している。引き続き雇用や取引を新規で行う際は、積極的な市民の雇用、市内業者の活用をお願いしたい。	3.2	昨年度と比較し、市内雇用3%、市内事業者4%の増加があったことについて評価したい。	3.2	B
	人材配置	事業の規模に適した健全な収支体制を維持できる適正な人員を確保しているか。	3	<ul style="list-style-type: none"> シフトにて適材適所でローテーション制を行い、随時見直しを行っている。 スタッフのマルチ化を図り、労働力を改善している。 学生バイトを雇用し、天候に併せた柔軟な雇用を実現している。 	3	事業計画書に記載された計画に沿った人員を配置しているが、業務の効率化と合わせて適正な人員数を適宜見直ししていくことを期待する。	3.0	部門間だけのマルチ化ではなく、会社全体でのマルチスタッフ化を期待する。また、業務の効率化と合わせて適正な人員数を適宜見直ししていくことを期待する。	3.0	B
	人材育成	事業計画書に記載されている内容またはそれに代わる方法で、人材育成に努めているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> 若手就農者の農業技術向上のため「持続可能な農業を考える」勉強会を企画し、座談会及びベテラン農家の圃場見学会を実施した。 講師を招いて、スタッフ向け「リーダー研修会」の実施。 新人スタッフ研修で新たに、「座学」研修を取り入れ会社の目的を説明した。 役員においても、外部研修に積極的に参加し知識を深めた。 スタッフの情報共有と意識向上のため各部門のリーダー会議を実施した。 	3	事業計画書等に記載のとおり、研修計画に沿って人材育成を図っている。スタッフだけでなく、出荷農家に目を向けて、勉強会を実施したことは評価したい。少しずつマルチスタッフ化を進めているが、今後も社内全体でのマルチスタッフ化を活発化することを期待する。	3.2	従業員向けの研修だけでなく、若手就農者への勉強会等を積極的にに行い、農業者の技術向上に着手したことは評価したい。	3.2	B
	個人情報	事業計画書に記載されている個人情報保護方針の策定またはその他の方法で、個人情報を保護できる体制が整っているか。	3	<ul style="list-style-type: none"> PCに関しては、取り扱い者を限定している。 ペーパー類の情報は施設出来る保管庫にて保管して、情報の持ち出しはしていない。 	3	事業計画書等に記載のとおり、個人情報の保護体制を整えている。	3.0	事業計画書等に記載のとおり、個人情報の保護体制を整えている。	3.0	B
	連携体制	事業計画書に記載されているとおり、市民団体や農業者組織、行政と連携した事業の取り組みに努めているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> 農業まつり実行委員会として、他団体と連携し、農業まつりを盛り上げた。 全国農協観光協会と連携して農業体験交流事業の実施した。 あびこ型「地産地消」推進協議会と連携し、連絡協議会の実施や学校給食の食材提供を行った。 市内小学校と連携して、小学生による「農産物の販売会」の実施、「町発見」授業の受け入れや市内小学校が作成したフードロスポスターを掲示した。 市内福祉施設にコシヒカリ260kgを寄贈した。 住み良いまちづくり研究所と連携し、「あびこ桜まつり」を盛り上げた。 山陰鳥類研究所への支援で募金箱の設置をした。 白樺派カレー普及会と連携して「白樺派カレー感謝セール」に協力した。 民間団体と連携して、ドラマ撮影の協力をした。（5月、12月） 	4	事業計画書等に記載のとおり、各団体と連携した事業の取り組みがみられる。近隣小学校との連携を強化し、食育に関する様々な取り組みができたことは評価したい。今後も市民交流や顧客確保を効果的に推進できるように、より積極的な連携を期待したい。	3.6	農協観光協会、消費生活展、柏レイソルホームタウンデーや市内各学校など、非常に多くの市民団体、関係機関などと連携して取り組んだ実績は評価したい。今後も市民と農業を繋ぐ、交流事業を継続してほしい。	3.7	B
	平均点	3.2	平均点	3.2	平均点	3.2	平均点	3.2		

指定管理者選考委員会総評

前年度の実績を踏襲し、農業拠点施設指定管理者として事業計画に記載された事業に真摯に取り組んでおり、果たすべき役割については、全般に亘って評価の基準を満たしている。新たな企画や研修などにも取り組む姿勢は素晴らしく、また、コロナ禍の内食需の波に乗り、売上を伸ばしてきた数年であったが、光熱費の急激な高騰など物価高の影響を受けながらも黒字を確保できたことは評価したい。ただし、加工部門の収支改善は急務であり、製造・販売の両方で改善が必要となることから、専門家の助言を受けながら、積極的な姿勢と大幅な改善を望む。令和5年度も物価高は劇的に状況が変わるわけではなく、真価が問われる年となるが、農業拠点施設として果たすべき役割を果たしてきた実績と継続的な努力、あきらめない気持ちを武器に、この状況に立ち向かっていくことを期待したい。そして、今後も農業拠点施設としての役割を重視した事業の拡充を期待したい。